

1 単元名 レジリエンスを育てる「スリーヒントクイズ」

2 単元について

(1) 子どもたちのレジリエンスについて

レジリエンスの一般的な定義としては、「困難な出来事を経験しても個人を精神的健康へ導く心理的特性や力」である。自分の課題を正しく理解し、進んで取り組もうと悩み、自ら対処する力が育てば、将来に希望や夢をもつことができる子どもが育つと考える。

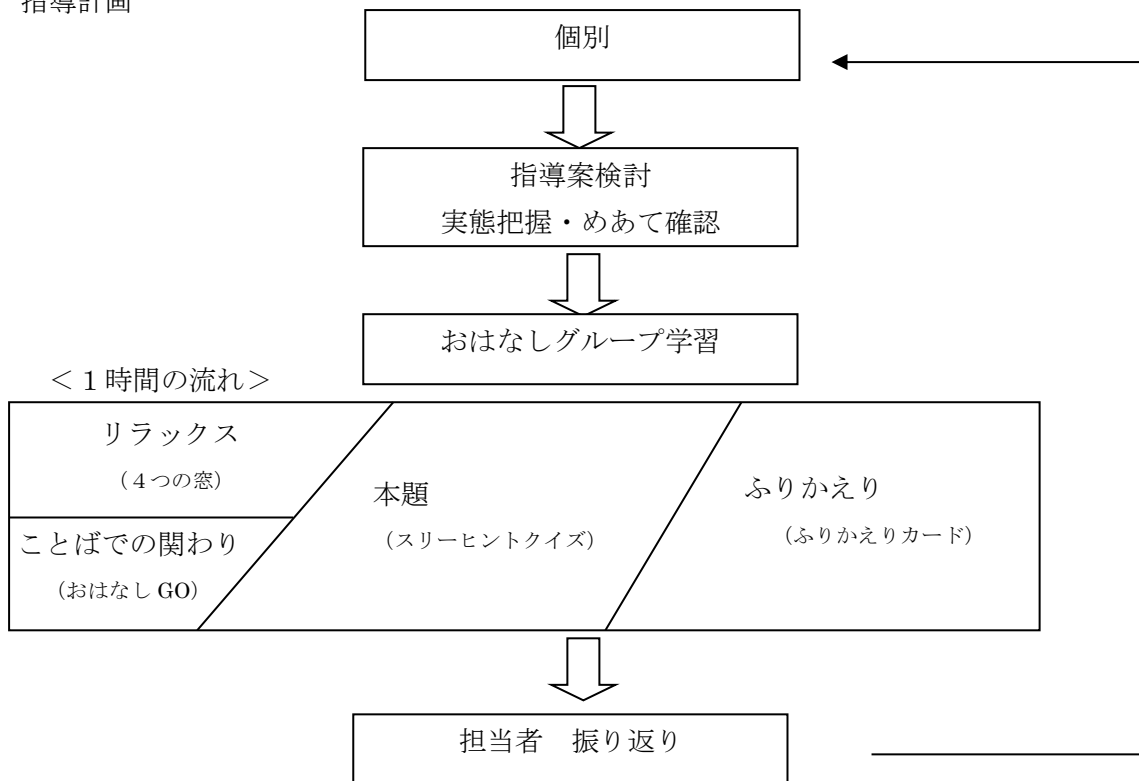
ことばの教室では特に子どもたちの「がんばりたい、何度も取り組みたい」という気持ちをもつことを「自分のレジリエンスを育てたい」という思いであると捉える。そのために「わかった」「できた」を実感することや、周りから認められた経験が大切であると考え。そしてその経験が積み重なることが自分のよさ（レジリエンス）をクラスやその他の暮らし全体に生かすことにつながると考える。

(2) 教材について

今回の授業では、「自分の考えや思いを相手に伝えることができる」を目標とする。個別学習で構音指導を行いながら「ことばを育てる」ことについても意識して指導を行うようにしてきた。その中で子どもの話す内容を分析していくと「語彙が乏しい」「表現が苦手」「落ち着いてことばのやりとりができない」などに気が付いた。そこで「語彙」「表現」「集中」に着目して一時間の流れを考えた。「語彙」については単語を集めてカテゴリーに分けたり、絵辞典で調べたりする活動をした。表現については今回の授業でも行う「4つの窓」や「おはなしGO」でいくつかの答えからじぶんに合うものを選択したり、その理由を話したりする。「集中」については、一つ一つの内容を明確にして次の活動に取り組めるように声をかけるようにしている。また、「スリーヒントカルタ」を行い、「集中」して細かく絵を見る活動も行ってきた。その積み重ねから今回の「スリーヒントクイズ」をつくる時に、どれをヒントにしようか「集中」して取り組めると考える。

これらのことを毎月行いながら、個別学習において子どもと振り返りをしながら成長を確認している。さらに、目標がどの程度達成できているか「ことばのテスト絵本」の状況絵の説明の部分の変容をみていくことで、以前よりも状況を説明できるようになったかを検討していく。

3 指導計画



4 本時の指導と展開

(1) 目標

- 4つの窓で仲間や担当者の話を聞いたり、自分の考えを話したりできる。
- おはなしGOで仲間や担当者とことばのやりとりができる。
- スリーヒントクイズに集中して取り組み、様々なことばからヒントを選択することができる。

(2) 展開

活動と内容	指導や支援の手立て (T1☆・T23456○)	資料 (◇評価)
1 あいさつをする 今日の学習の流れを知る。	☆全員が集まって着席を確認する。 ☆学習内容を伝え、活動に参加しやすいようにする。	ホワイトボード
2 4つの窓 ① 4つの項目から1つ選んでグループになる。 <質問内容> ・どの季節が好きですか。(春、夏、秋、冬) ・どの家に行きたいですか。(質問絵本より) ② グループの中で選んだ理由を伝え合う。	☆安心して参加できるように、選びやすい質問内容を提示する。 ☆選ぶものをイメージしやすくするために、イラストを描いた提示用紙を見せる。 ☆○選択に悩んでいる子どもには、4つの項目それぞれの特徴を伝え、対話をしながら選べるようにする。	提示用紙 ◇ 4つの窓で仲間や担当者の話を聞いたり、自分の考えを話したりできる。
③ グループで出た理由を	○リラックスして取り組めるように、担当者が中心となり、考えがまとまるように話を整理したり、話が広がるように質問をしたりして、和やかな雰囲気をつくる。 ○出た内容を整理し、発表する内容を確認する。	

<p>全体に発表する。</p> <p>3 おはなし GO をする</p> <p>① 4つの項目から 1つを選ぶ。</p> <p>・好きな学習は何ですか。 (図工、算数、体育、国語)</p> <p>② 友達と一対一で何を選んだか伝え合い、同じだったら「おはなし GO」、違ったら「またね」と言ってハイタッチをする。</p>	<p>☆初対面でも話しやすいように、選びやすい質問内容を提示する。</p> <p>☆選ぶものをイメージしやすくするために、イラストを描いた提示用紙を見せる。</p> <p>☆○選択を悩んでいる子どもがいた場合には、選択しやすいように4つの項目それぞれの特徴を伝える。</p> <p>☆○ペア作りに戸惑っている子には、子ども達同士で声をかけやすいように、ペア作りの手助けをしたり、一緒に参加したりする。</p>	<p>提示用紙</p> <p>◇おはなし GO で仲間や担当者ことばのやりとりができる。</p>
<p>4 スリーヒントクイズ</p> <p>① 4つのグループに分かれる。</p> <p>② 絵本の中のねこについて、スリーヒントクイズを作成する。</p> <p>③ 作成したクイズを発表する。</p>	<p>☆スリーヒントクイズのルールを捉えやすくするために、今までの学習を振り返る。</p> <p>○ヒントがたくさん出るように、絵全体から見つけたものを伝え合えるように支援する。</p> <p>○ヒントを作成しやすくするために、カテゴリーカードを提示する。</p> <p>○ヒントを3つに選択する際には、一つずつ答えに近づいていくように補助する。</p> <p>○全員が発言できるように、順番を決めて取り組めるようにする。</p> <p>○子どもたちが自信をもって発表できるように、方法を話し合ったり、練習をしたりする場をつくる。</p> <p>☆発表の際には、聞いている子どもたちが答えを考えたり、話し合ったりする時間を設けるために、2つ目のヒントで間をとる。</p>	<p>カテゴリーカード</p> <p>絵本</p> <p>名前ペン</p> <p>ヒント記入用紙</p> <p>◇スリーヒントクイズに集中して取り組み、様々なことばからヒントを選択することができる。</p>
<p>5 ふりかえり</p>	<p>☆振り返りカードを提示しながら、書き方の説明をする。</p> <p>☆○書き方に戸惑っている子どもには、学習を振り返ることができるように提示用紙や、スリーヒントクイズの記入用紙を見せる。</p>	<p>ふりかえりカード</p>
<p>6 終わりのあいさつ</p>	<p>☆ふりかえりカードを生かしながら、一人一言を考える補助をする。</p>	